

編 集 後 記

雨続きの水無月は亜熱帯化を思わせる蒸し暑さで、自律神経との折り合いを探る季節が今年も始まります。満開の桜を川沿いで見られなくなってから数年が経ち、せめて紫陽花の美しさには癒やされたいと思うのですが…。

誌上ギャラリーには山口先生が高千穂連峰に咲く健気な花々をお寄せくださいました。高地の過酷な環境に広がる鮮やかな色彩は登山疲れを吹き飛ばすかのようです。

論説と話題は医師会病院の令和6年度経営改善に向けた取り組みについてです。コロナ補助金が終了し様々な診療報酬改定もスタートする中、病棟集約・各科対応の整備と強化・後期研修プログラムなど新たな方策を大迫院長にお知らせいただきました。患者ご紹介の際は毎号に掲載されている医師会病院だよりで週間診療案内やスケジュールをご確認ください。

学術も医師会病院緩和ケア科からです。終末期大腸癌患者の合併症と予後の解析を馬見塚先生がお示しくくださいました。肝転移群は肺転移群より有意に予後不良であること、血清 ChE 値は Pre-Alb より安価かつ鋭敏に栄養評価が可能であること等が述べられています。

随筆・その他では粟先生の長編随筆「音楽の散歩道」が音楽と舞踏や舞台を包括したバレエそのものの美しさをご紹介します。子供の時分バレエを習っていた身としても楽しませていただきました（話すときと笑われるのですが事実です。私事失礼）。医療事故調査制度の整備に心血を注がれた小田原先生からは連載最終回にあたり新旧制度の比較を通じて現制度を守ろうというご提言をいただきました。リレー随筆は鹿児島大学病院耳鼻咽喉科の松元先生が中学生のご長男と2人で囲碁にハマっていく過程を綴られています。父の実家にも立派な囲碁盤があったのを思い出しました。諸先生方、ご寄稿ありがとうございます。

各種部会だよりは市内科医会2月例会から「不眠症診療 up-to-date」と題した講演内容を武井先生にご紹介いただきました。不眠症の診断と鑑別、治療戦略としての睡眠衛生指導・認知行動療法、薬物療法とその出口について教えてください。市外科医会特別講演会と市整形外科医会総会についてもそれぞれご報告いただきました。

各種報告は理事会概要、委員会開催状況、第1回支部長会、会員施設職員研修会の内容です。

附属施設だよりは医師会病院と検査センターの診療・利用と収支実績をお示ししました。

新入会員紹介や会員異動など当会の動きも掲載されています。

鹿市医郷壇改め鹿市医狂壇のお題は「雨（あめ）」です。ユーモアたっぷりの句から昔懐かしい梅雨どきの光景が浮かんでくるようで楽しいです。今回の名称変更については選者の樋口先生からお申し出がありました。詳しくはページ内のお知らせをご覧ください。

医師会認定の学術講演会の案内もございます。コロナ禍ですっかり認知されたハイブリッド形式の講演は移動の手間なしで新知見に触れられるため有難い存在です。

同時にお届けする別冊は第22回臨時代議員会の議事録です。役員等選定選任の模様や当会収支予算報告等、是非ご一読くださいませ。

来月開幕するパリ五輪の準備も整いつつあるようで、TVやWebニュースの報道に明るさを提供してくれることに感謝しつつ眺めています。お洒落の国がどのような舞台を用意してくれるか楽しみです。「ふらんすへ行きたしと思へどもふらんすはあまりに遠し」状態ですので熱い盛り上がりは画面越しに見届けます。この雨季がカラリと終わりますように！

（編集委員 關根さおり）